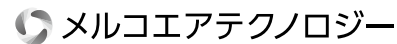


## 防火ダンパー（ダクト挿入タイプ）



AT-225DDS

形名コード BG-039

取扱説明書（据付説明書付）

この製品は、換気扇をダクト配管して給気・排気をする場合にダクト内に据付けて使用するものです。

■この製品はダクト配管を通して火災が広がるのを防止する構造になっています。

■防火ダンパーの使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

■この製品の性能・機能を十分発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付けが必要です。

■据付けを始める前に、この説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

■据付けは販売店・工事店様が実施してください。

**据付け終了後は、必ずこの説明書をお客様にお渡しください。**

ご使用の前に説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

なお、お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに保管してください。

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

タイプ	適用パイプ口径 (mm)
AT-75	φ75
AT-100	φ100
AT-125	φ125
AT-150	φ150
AT-175	φ175
AT-200	φ200
AT-225	φ225
AT-250	φ250
AT-300	φ300

●適用パイプの種類…スパイラルダクト

●温度ヒューズ公称動作温度

72℃ …… 形名の最後が「DDS」

火気使用室（厨房・台所等）の排気ダクトには使用できません。

120℃ …… 形名の最後が「DKS」

火気使用室（厨房・台所等）の排気ダクト以外には使用できません。

## 安全のために必ず守ること

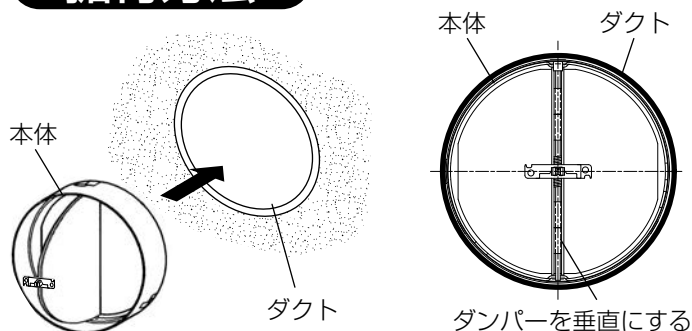
誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

	<b>警告</b> 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
	<p>●防火ダンパーを密閉または、半密閉の燃焼設備（給湯機・風呂釜など）の排気ダクトには使用しない（誤動作によりダンパーが閉じて排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起こす原因）</p> <p>●常時振動したり、振動しやすい場所には据付けしない（落下によるけがの原因）</p>
	<p>●本体の据付けは、十分強度のあるところを選んで確実に（落下によるけがの原因）</p> <p>●必ず定期的（1年以内ごと）に点検を行う</p>
	<b>注意</b> 誤った取扱いをしたときに軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの
	<p>●据付けやお手入れの際は、手袋を着用する（着用しないとけがの原因）</p>

## 据付け前のお願い

- 使用環境が-15℃～50℃の範囲になる場所で使用してください。
- この製品は汚染ガス耐力（酸、薬品、温泉害など）を持たせたものではありません。下記のような場所での使用は腐食が急激に進み、寿命が著しく低下するおそれがありますので特にこまめな点検・清掃および早めのお手入れが必要です。
  - ・化学工場、パルプ工場などの構内およびその周辺地域
  - ・工場、学校等の実験室などで化学薬品を使用する場所
  - ・温泉地域やプール、下水の排気などの用途
  - ・その他、腐食性物質、腐食性ガスの発生する場所
  - ・融雪剤が飛散する場所
- 点検・清掃や温度ヒューズの交換・部品の交換が容易にできる場所へ据付けてください。
- ダクトには、雨水の浸入を防ぐため、屋外へ向けて下りこう配をつけてください。（排気ダクト：1/100以上、給気ダクト：1/30以上）
- ダンパーが作動しなくなるおそれがありますので、接続するダクトを変形（ツブレ）させないようにしてください。

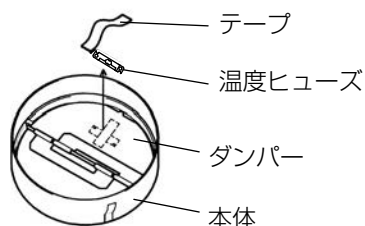
## 据付方法



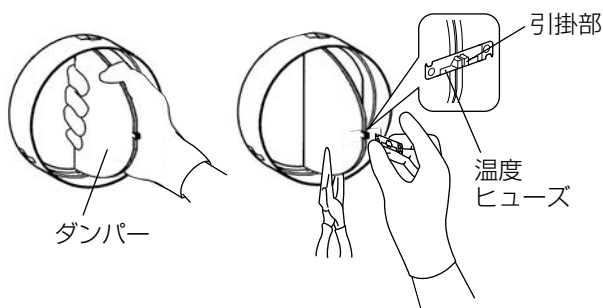
製品の向きを確認し、ダクト内に本体を水平に挿入してください。

※本体を固定する際は、ダンパーが図のように垂直になるように据付けてください。

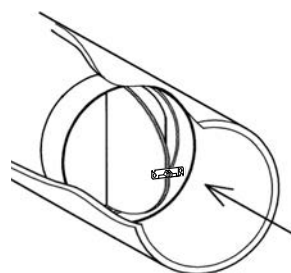
- ①ダンパーに貼付けてある温度ヒューズを取りはずす。(温度ヒューズを貼付けているテープは完全にはがしてください)



- ②両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。(はさみにくいときはラジオペンチなどを使用してください)



- ③ダンパーが点検できる側に温度ヒューズが向くようにしてダクト内に押し込む。(バネにより固定されます)



## お手入れ

※安全にご使用いただくために、必ず定期的な点検・清掃を行ってください。

### 点検項目

- 製品の据付け状態は正常であるか？
- 製品各部に腐食や塗装の浮きなどがないか？
- 温度ヒューズに著しい腐食（銅板が青緑色へ変色）の発生がないか？
- 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じていないか？

※点検の結果、異常が見つかった場合は、修理・部品（製品）の交換をお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。

### 清掃

- 清掃・修理などの際には、下記の溶剤や洗剤、清掃用具を使用しないでください。製品表面に傷つきや変色、割れが発生する原因になります。

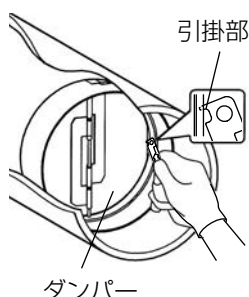
※清掃・修理などの際には、シンナー・アルコール・その他化学薬品（酸・アルカリ洗剤）などの溶剤を使用しないでください。腐食や変色・変質などの原因になります。

## 温度ヒューズの交換

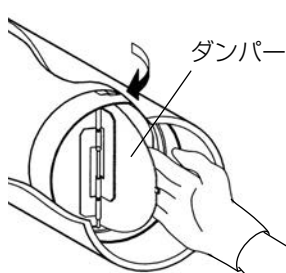
- 温度ヒューズの表面に腐食が発生した場合は、温度ヒューズを交換してください。取付け・交換はお買い上げの販売店、工事店に依頼してください。
- 温度ヒューズが作動し、ダンパーが閉じている場合は手順①から③、温度ヒューズを交換する場合は手順③を行ってください。

**お願い** ●温度ヒューズは、指定された公称動作温度の当社製温度ヒューズを使用してください。

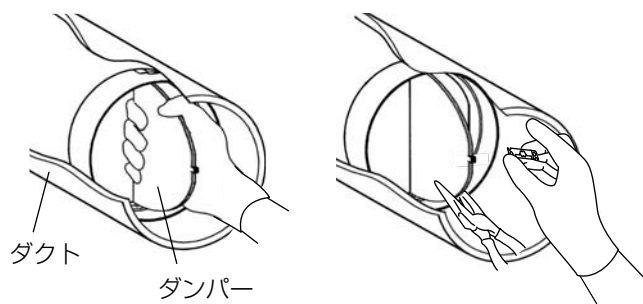
- ①温度ヒューズのフックで片方のダンパーの引掛部を引掛け、片方のダンパーを起こす。



- ②手を入れてもう片方のダンパーを裏側から押すように起こす。



- ③両方のダンパーを指ではさみ、引掛部に温度ヒューズを取付ける。(はさみにくいときはラジオペンチなどを使用してください)



メルコエアテクノロジー株式会社